

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立今泉中学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

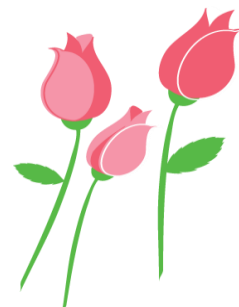
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的をもってインタビューをする場面において、知りたい情報に合わせて質問する内容を検討したり、聞き取ったことを基に目的に沿って自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて複数の文章を読む場面において、行為、心情を表す語句について理解したり、表現の効果について考えたり、叙述を基に捉え要旨を把握したり、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。
- ・調べたことなどをレポートにまとめて書く場面において、読み手の立場に立って文章を整えたり、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書いたりすることができるかどうかをみる。
- ・古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んだり、古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えたりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「思考力、判断力、表現力等」において、「読むこと」「書くこと」の総合的な正答率は、全国平均や県の平均を上回っています。
- 「知識及び技能」において、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率も、全国平均や県の平均を上回っています。
- 作者の文章作成上の工夫を読み取る問題の正答率が、全国平均や県の平均を上回っています。

◆課題のある点

- 作者の意図を深く読み取ることや文章の前後をつなげて効果的に書くことに課題があります。
- 歴史的仮名遣いや古文の知識に関する問題の正答率が、全国平均を下回っています。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 評論文を読む上で作者の述べたいことを読み取る練習を重ねます。
- 古文に慣れ親しんで基本的な文法を理解するように取り組みます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・事象を数・量・図形等に着目して観察したり、事象の特徴を的確に捉えたり、理想化・単純化したり、情報を分類・整理したりすることができるかどうかをみる。
- ・問題解決に向けて解決の方針を立てたり、筋道を立てて考えたり、方針に基づいて解決したり、事象に即して解釈したことを数学的に表現したり、数・式・図・表・グラフなどを活用したり、数学的に表現したことを解釈したり、解決の結果を数学的に表現したりすることができるかどうかをみる。
- ・数学的な結果を解釈したり、必要な情報を選択し判断したり、解決の過程や結果を批判的に考察したり、解決の過程や結果を振り返り評価・改善したり、統合的・発展的に考察したり、事象を多面的に見たりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 計算問題を解く力や、文章を読み取る技能が身についています。
- 文字式の展開(分配法則を用いた問題)や数についての理解(自然数の定義)については、県や全国に比べて正答率が高かったです。それに関連し、文字式を使った証明問題も正答率が高かったです。
- 一次関数のグラフに関する応用問題についての正答率も高かったです。これは、x軸を時間、y軸を距離としたときに、速さが直線の傾きになるということを理解している生徒が多いことに起因しています。

◆課題のある点

- 図形の証明問題については、無回答の生徒が20%以上います。証明についての理解、三段論法等が把握できていないことが考えられます。
- 資料の活用(度数分布表)についての問題、データの分析(箱ひげ図)についての問題については正答率が低く、十分に理解していない生徒が多いです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 今回の結果から指導改善すべき点としては、図形の証明の指導があげられます。第2学年の学習内容を理解している生徒が少ないことから、もう一度、三段論法等による証明の流れを復習していきます。
- 度数分布表や箱ひげ図は、関連する用語も含めて復習し、データの分析の方法も見直していきます。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できるかどうかをみる。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 状況を描写する英語や場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題の正答率が、他の問題と比較して特に高く、情報を正確に聞き取ることができています。
- まとまった英文を読むときに、事実と考えを区別して、要点や書き手の伝えたいことを把握することができています。

◆課題のある点

- メールの文章を読み慣れておらず、ほかの問題と比較して正答率が低く、課題が残ります。
- 文章を読み取った後に、書かれていた内容について表現を言い換えたり、自分の考えを書いたりするといった書くことの領域の正答率が、ほかの領域と比較して低く、課題が残ります。
- 学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、説明する文章を作る問題では、細かなミスで減点されている解答が多くあり、正確に英作文する力に課題が残ります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- まとまった英文を読み取った後に、誰かに伝える Retelling 活動を積極的に行い、英語での表現力、特に言い換える力の向上に取り組めます。
- 英作文や発表など、まとまった文章を書いたり発表したりする取り組みを増やします。
- 正しい英文が書けるように、英語を書くときのルールについて、より丁寧に取り組めます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 家庭での学習習慣が定着しています。平日の学習時間が1時間以上の生徒について、全国平均が65.8%であるのに対し、本校では79.5%であり、大きく上回っています。また、学校が休みの日においても2時間以上学習している生徒は54.9%おり、全国平均と比べて14.9ポイント高いです。学年の進路に向けて1、2年生での取組が表れ、学習の定着が図られていると考えられます。
- 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に対し、週に3回以上と答えた生徒が70.3%おり、全国平均と比べて9.2ポイント高いです。「ICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている」という質問に対しても、「役に立つと思う、どちらかといえば役に立つと思う」と答えた生徒は94.9%いることもあり、注目していく必要があると考えます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「読書は好きですか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が58.5%で、全国平均と比べて7.5ポイント下回っています。また「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」という質問に対しても「年に数回、まったく行かない」と答えた生徒が88.7%で、全国平均と比べて7.9ポイント下回っています。理由として考えられることは、朝読書は取り組んでいるものの、学校生活でじっくりと本を選ぶ時間が取れないことが考えられます。普段から活字に慣れ親しみ知識や表現力、想像力が豊かになるなど、読書をすることは、生徒の資質・能力を高められることにつながり、大切にしていける必要があると考えます。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が82.5%おり、全国平均と比べてやや上回っています。協調することだけが正しいのではなく、考えの一つとして客観的に捉え、様々な視点で物事を受け止めるようになります。また、多様性を尊重しながら物事を考えることができるようになります。これらのことが、今後さらに定着することで、自分の意思を強く持ち、周囲との関わりに配慮しながら行動がとれようになると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が59%で、全国平均と比べて、約5ポイント下回っています。感染症対策のため地域との関わりが、ここ何年で希薄になっていることが考えられます。

今後の具体的な取組について

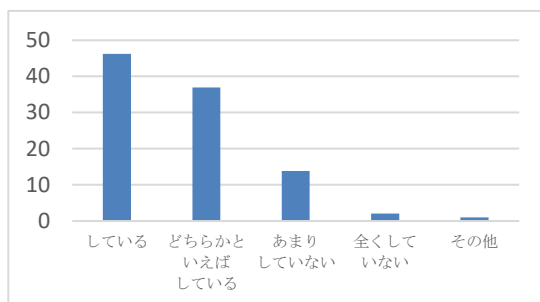
- ICT機器を活用した授業の研究を継続します。個の学習の充実を図るため、一人一台端末をより効果的に学習に生かせるようにします。加えて情報リテラシー教育を充実させます。
- 「学びが世の中とつながっているか」という視点から、学習内容が普段の生活にどう生かされているかを考えるなど、日常生活や社会とのつながりを意識した活動を進めていきます。総合的な学習の時間における探究活動においても、地域や社会との関わりを踏まえた活動を計画していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 規則正しい生活を続けましょう

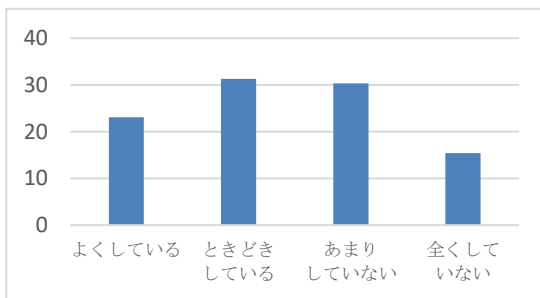
早寝早起き朝ご飯。これは生活全体のリズムを保つうえでも大切なことです。1日活動するための脳や体の準備ができやすくなります。また、睡眠の質を高めることもできます。



毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

2 目標をもち、計画を立てながらすごしましょう

将来に向けて自分を高める取組をしていきましょう。続けられる範囲で決めたり、中長期で設定したりするなどやり方は様々です。継続して習慣にすることで大きな力になるはずです。

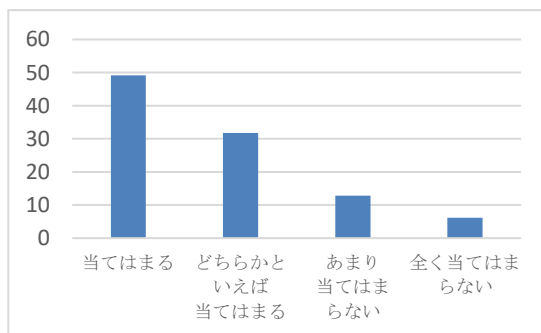


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

(学校の授業の予習や復習を含む)

3 よいところは、褒めましょう

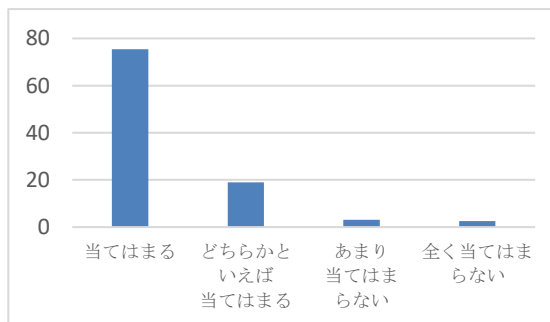
「自分にはこれができる」という思い、自分に自信をもって自ら成長できるよう、温かい言葉かけをしていきましょう。家族で自己肯定感を高め合い、幸福感をもてるようにしましょう。



自分には、よいところがあると思いますか

4 他者を尊重する気持ちを大切にしましょう

いじめはどんな理由があってもいけないことです。わかっている、はっきりと言葉にしたり行動に移したりするのが難しいこともあるでしょう。正しい行動をためらわないよう、一緒に支えていきましょう。



いじめは、どんな理由があっても

いけないことだと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



多様性を受け止め、多様性を生かし、えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係